

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	2012年1月25日から2015年11月11日まで（当初、無期限）
運 用 方 針	外国投資信託「ライオングローバル マレーシア ファンド 米ドルクラス」受益証券及び「F O F s用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」受益権への投資を通じて、投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主 要 運 用 対 象	投資信託証券（投資信託の受益権または受益証券および投資法人の投資証券をいい、外国投資信託の受益権または受益証券および外国投資法人の投資証券を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とします。
組 入 制 限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③株式への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。ただし、本ファンドが投資対象とする外国投資信託証券においてデリバティブを利用する場合があります。 ⑤投資信託証券、短期有価証券および短期金融商品等（短期投資を目的とする公社債等の有価証券を含みます。）以外への直接投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時（原則11月12日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

償還 運用報告書（全体版）

繰上償還

（償還日 2015年11月11日）

ライオングローバル アジア カンントリー・ファンド・シリーズ マレーシア投資ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ライオングローバル アジア カントリー・ファンド・シリーズ マレーシア投資ファンド」は、2015年11月11日に繰上償還となりました。

ここに謹んで設定日以降の運用状況および償還の内容をご報告申し上げます。

今後とも当社商品をご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.co.jp/>

 **SBI Asset Management**

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	基 準 価 額			投資信託証券 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	込 金	騰 落 中 率		
(設定日) 2012年1月25日	円 銭 10,000	円	—	% —	% —	百万円 14
1期 (2012年11月12日)	10,108	300		4.1	99.7	28
2期 (2013年11月12日)	11,656	2,000		35.1	100.2	62
3期 (2014年11月12日)	12,004	1,000		11.6	65.1	136
(償還時) 4期 (2015年11月11日)	(償還価額) 8,939.04	—		△25.5	—	83

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

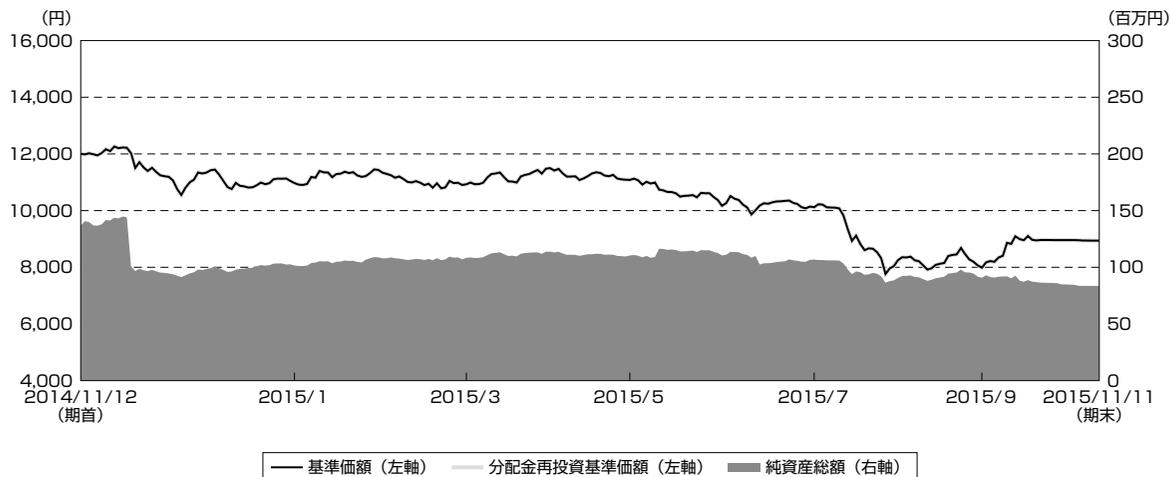
年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2014年11月12日	円 銭 12,004	% —	% 65.1	% 65.1
11月末	12,220	1.8	95.7	95.7
12月末	11,448	△ 4.6	93.0	93.0
2015年1月末	10,969	△ 8.6	94.1	94.1
2月末	11,453	△ 4.6	95.4	95.4
3月末	10,930	△ 8.9	94.9	94.9
4月末	11,413	△ 4.9	95.3	95.3
5月末	11,084	△ 7.7	94.8	94.8
6月末	10,169	△15.3	94.1	94.1
7月末	10,118	△15.7	94.5	94.5
8月末	8,355	△30.4	95.8	95.8
9月末	7,984	△33.5	93.0	93.0
10月末	8,958	△25.4	—	—
(償還時) 2015年11月11日	(償還価額) 8,939.04	△25.5	—	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 2015年10月末は、繰上償還のため投資信託証券を全て売却し現金化しています。

■運用状況及び投資環境

○基準価額等の推移



期 首：12,004円
期末 (償還日)：8,939円04銭
騰 落 率：△25.5%

- (注1) 当ファンドは、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首（2014年11月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

（2014年11月～2015年11月）

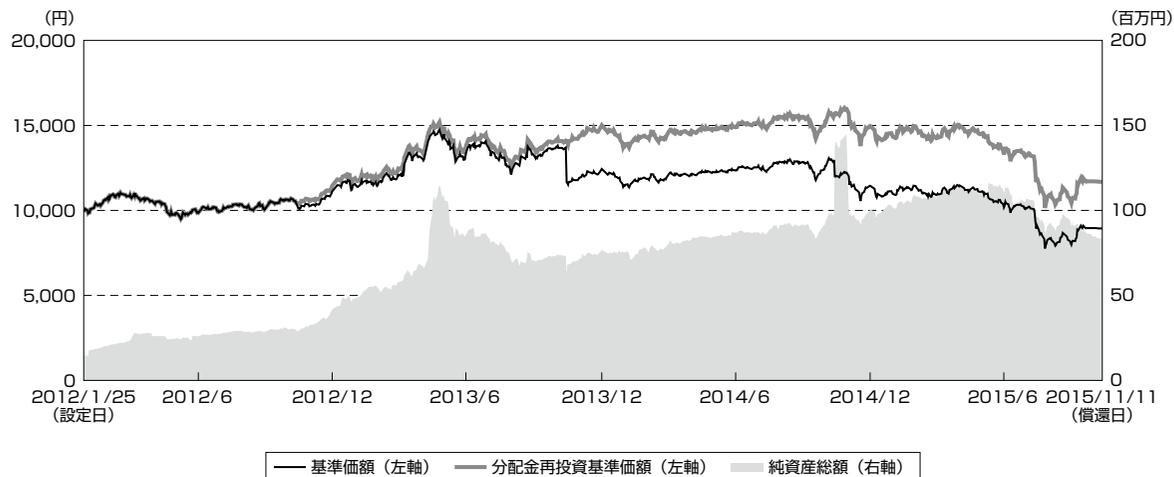
上昇要因

為替のドル高・円安進行など

下落要因

原油安や増税による景気低迷及び政治問題を背景としたマレーシア株式の下落、中国の人民元切り下げを発端とした世界的な株価急落、為替のドル安・円高進行など

○設定来の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

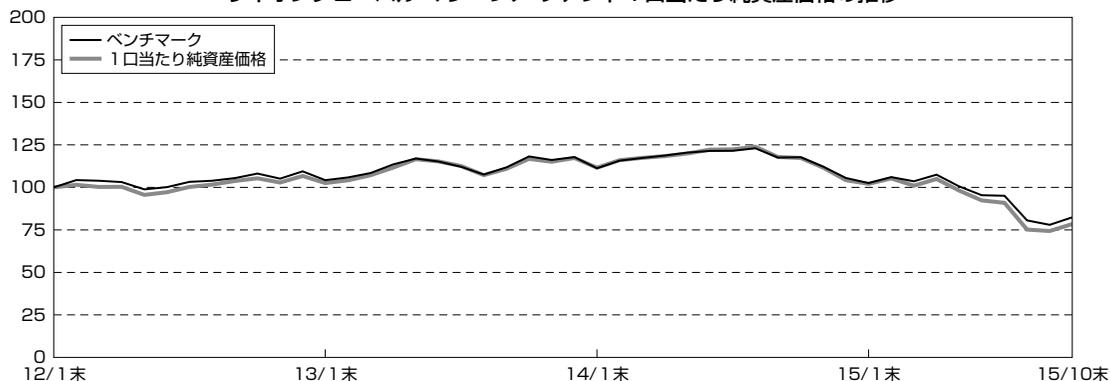
組入れている投資信託受益証券の価格の上昇

下落要因

組入れている投資信託受益証券の価格の下落

○設定来の投資環境

ライオングローバル マレーシア ファンド1口当たり純資産価格の推移



※純資産価格はブルームバーグ、ベンチマークはライオン グローバル インベスターズ リミテッドのデータに基づいています。
※純資産価格、ベンチマークは2012年1月末を100として指数化しています。
※純資産価格は報酬（固定報酬・成功報酬）控除後の数値です。

ベンチマークはMSCIマレーシア指数です。

MSCIマレーシア指数は、MSCI Inc. が開発した株価指数です。同指数に関する知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属し、同社は同指数の算出もしくは公表方法を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

【第1期】（2012年1月～2012年11月）

(2月)

マレーシア株式市場は当月に回復をみせ、アジア域内の他市場とほぼ同水準の収益率を上げました。

(3月)

マレーシア株式市場は、過去最高値に近い水準まで上昇しました（現地通貨ベース）。

(4月)

マレーシア株式市場は反落しました。

(5月)

マレーシア株式市場は、相対的に下値抵抗力をみせ、持ちこたえる展開となりました。

(6月)

マレーシア株式市場は、東南アジア市場の上昇に追随する格好で月末にかけて徐々に上昇しました。

(7月)

マレーシア株式市場は、前月からの勢いが継続し、上昇しました。

(8月)

マレーシア株式市場は、過去最高値まで上昇し、アジア地域や他の東南アジア市場を上回る収益率を上げました。

(9月)

マレーシア株式市場はプラスの収益を上げたものの、収益率に関しては他の東南アジア地域の市場に後れを取る形となりました。

(10月)

マレーシア株式市場は上昇基調となり、収益率に関してはアジア地域の他市場を上回りました。

【第2期】 (2012年11月～2013年11月)

(11月)

マレーシア株式市場は、来たる総選挙の先行き不透明感を前にして、外国人投資家の売りに見舞われました。

(12月)

マレーシア株式市場は、他のアジア地域や東南アジア市場と足並みを揃えるように上昇しました。

(1月)

マレーシア株式市場は、間近に迫った総選挙に対する懸念が重しとなり、東南アジア市場の中で最も低い収益率となりました。

(2月)

マレーシア株式市場は上昇基調を示しましたが、引き続きアジア地域の他市場を下回る収益率となりました。

(3月)

総選挙を巡る不透明感にもかかわらず、マレーシア株式市場は当月後半に急上昇しました。

(4月)

マレーシア株式市場は、総選挙が近付いてきたことから、主に海外からの投資資金の流入により、上昇しました。

(5月)

マレーシア株式市場は、総選挙が終了し、政治の先行き不透明感がなくなったことを受けて、上昇しました。与党連合が再選し政権が維持されたことが投資家に好感されました。

(6月)

マレーシア株式市場は下落しました。

(7月)

マレーシア株式市場は、米格付け会社フィッチ・レーティングスがマレーシアの長期債務格付けの見通しを安定的からネガティブに引き下げた動きを背景に、投資家がマレーシア株を売却したことから、東南アジア地域の他市場を下回る収益率となりました。

(8月)

マレーシア株式市場は、海外機関投資家による高水準の外債投資の持ち高調整や、マレーシアの経常黒字の減少、財政赤字への不安が高まったことを背景に、下落しました。

(9月)

マレーシア株式市場は、米連邦準備理事会による金融緩和縮小の先送りが投資家の信頼を高めたものの、ディフェンシブ性及び低ベータ（市場変動に対する株価の感応度が低い）といったマレーシア市場の特性により、東南アジア地域の他市場の収益率を下回りました。

(10月)

マレーシア株式市場はプラスの収益率を確保しましたが、東南アジア地域においては他市場を下回る収益率となりました。

【第3期】 (2013年11月～2014年11月)

(11月)

マレーシア株式市場は東南アジア地域の他市場を上回る収益率を上げましたが、前月末比ではほぼ横ばいとなりました。

(12月)

マレーシア株式市場は、米量的緩和の縮小が間近に迫り、海外機関投資家による市場参加率が低下しているにもかかわらず、当月に過去最高値を付けました。

(1月)

マレーシア株式市場は、世界の経済環境の先行き不透明感が高まる中、他のアジア市場と歩調を合わせて軟調に推移しました。

(2月)

マレーシア株式市場は、東南アジア地域で相対的に収益率の低い市場の1つとなりました。

(3月)

マレーシア株式市場は、小幅に上昇しました。

(4月)

マレーシア株式市場の収益率は、東南アジア市場の指標となる指数の収益率を下回るなど、他市場とは異なるものとなりました。

(5月)

堅調な内需や、輸出が輸入を上回る純輸出がマレーシアの2014年1－3月期のGDP成長率を前年同期比+6.2%まで押し上げたことが公表されたにもかかわらず、マレーシア株式市場の収益率は、前月からほぼ横ばいとなりました。

(6月)

マレーシア株式市場は、小幅高となりました。

(7月)

マレーシア株式市場は前月から若干上昇しましたが、東南アジア市場では最も低い収益率となりました。

(8月)

マレーシア株式市場は前月末比ほぼ横ばいで取引を終えました(現地通貨ベース)。これは、輸出や民間投資の伸びにより2014年4－6月期のGDP成長率が前年同期比+6.4%と好ましい結果となったにもかかわらず、マレーシア企業の2014年4－6月期の企業収益が市場予想に届かなかったためです。

(9月)

マレーシア株式市場は小幅に下落し、東南アジア地域の株式市場の指標を下回る収益率となりました(現地通貨ベース)。

(10月)

マレーシア株式市場は若干の上昇となりました。

【第4期】(2014年11月～2015年11月)

(11月)

マレーシア株式市場は幅広い銘柄が売られ、エネルギー株主導の下落が続いた一方で、電気通信サービスや公益事業といったディフェンシブ銘柄は若干ながらも上昇しました。

(12月)

直近の原油相場下落に加えて、マレーシアの貿易赤字や経常赤字を巡る懸念が株式市場の下落につながりました。

(1月)

原油相場安定化の初期兆候や、より現実的な内容の修正が加わったマレーシアの国家予算案などが、マレーシア株式市場を前月末比でプラス圏に押し上げました。

(2月)

マレーシア株式市場においては、原油相場の反発やマクロ経済指標の好転が相場の上昇をもたらしました。

(3月)

原油相場が下落し、物品・サービス税の導入を前に投資家が慎重姿勢に転じる中、マレーシア株式市場は前月末比で下落しました。

(4月)

原油相場が上昇しているにもかかわらず、マレーシア株式市場の収益率は前月末比でほぼ横ばいとなりました。

(5月)

マレーシア株式市場は、政府系投資会社 1MDB の債務問題やマレーシア企業の低調な企業収益を巡る懸念から、下落しました。

(6月)

マレーシア株式市場は、政府系投資会社 1MDB の債務問題や政治的混乱に対する不安、米格付け会社フィッチ・レーティングスによるマレーシアの格下げを巡る懸念、ギリシャの債務返済を控えた投資家の警戒感の高まりなど複合的な要因により、下落しました。

(7月)

マレーシア株式市場は、取引最終日に指数に占める比重が大きい大型株が急騰したことから、前月末比で上昇しました。当月のマレーシア市場は、政府系投資会社 1MDB の債務問題を巡る懸念やマレーシアの政治面における逆風が継続したほか、原油相場が急落し、マレーシア・リングが年初来安値を付けたにもかかわらず、プラスの収益率を確保しました。

(8月)

マレーシア株式市場は、マレーシア企業の四半期業績発表が総じて弱含みとなったことに加えて、中国による人民元の切り下げ、マレーシアの政治的混乱への懸念、原油及びパーム粗油の価格低迷などにより、下落しました。

(9月)

マレーシア株式市場は下落し、マレーシア・リングが対シンガポール・ドルで下落したことによりシンガポール・ドルベースでのリターンも低下しました。

○当ファンドのポートフォリオ

外国投資信託「ライオングローバル マレーシア ファンド 米ドルクラス」受益証券及び「F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」受益権への投資を通じて、投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

○1万口当たりの費用明細

(2014年11月13日～2015年11月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 117 (56) (56) (4)	% 1.120 (0.539) (0.539) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷)	153 (77) (16) (59)	1.464 (0.743) (0.152) (0.569)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	270	2.584	
期中の平均基準価額は、10,425円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

○売買及び取引の状況

(2014年11月13日～2015年11月11日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	F O F s 用短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)	口 —	千円 —	口 100,051	千円 99
外 国	(シンガポール) LIONGLOBAL MALAYSIA FUND	口 383,729	千米ドル 693	口 773,742	千米ドル 1,193

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2014年11月13日～2015年11月11日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年11月11日現在)

償還日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2015年11月11日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	84,345	100.0
投資信託財産総額	84,345	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2015年11月11日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	84,345,398
コール・ローン等	84,345,375
未収利息	23
(B) 負債	824,937
未払信託報酬	564,823
その他未払費用	260,114
(C) 純資産総額(A-B)	83,520,461
元本	93,433,356
償還差損金	△ 9,912,895
(D) 受益権総口数	93,433,356口
1万口当たり償還価額(C/D)	8,939円04銭

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >
(貸借対照表関係)

期首元本額	114,038,608円
期中追加設定元本額	85,724,555円
期中一部解約元本額	106,329,807円

○損益の状況

(2014年11月13日～2015年11月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	502,662
受取利息	△ 52,041
その他収益金	554,703
(B) 有価証券売買損益	△17,622,165
売買益	12,579,796
売買損	△30,201,961
(C) 信託報酬等	△ 2,725,364
(D) 当期損益金(A+B+C)	△19,844,867
(E) 追加信託差損益金	9,931,972
(配当等相当額)	(97,681)
(売買損益相当額)	(9,834,291)
(F) 合計(D+E)	△ 9,912,895
償還差損金(F)	△ 9,912,895

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2012年1月25日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2015年11月11日		資産総額	84,345,398円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	824,937円
				純資産総額	83,520,461円
受益権口数	14,436,999口	93,433,356口	78,996,357口	受益権口数	93,433,356口
元本額	14,436,999円	93,433,356円	78,996,357円	1万円当たり償還金	8,939円04銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	28,365,936円	28,672,947円	10,108円	300円	3.0000%
第2期	53,460,155	62,315,362	11,656	2,000	20.0000
第3期	114,038,608	136,890,194	12,004	1,000	10.0000

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	8,939円04銭
----------------	-----------

○約款変更のお知らせ

- ・運用報告書（全体版）について、電磁的方法により提供することを可能とするため、信託約款に所要の変更を行いました。
- ・信託契約の解約及び変更等に係る書面決議について、要件の緩和に伴い信託約款に所要の変更を行いました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権の買取請求について、規定の適用除外に伴い信託約款に所要の変更を行いました。

（変更日：2014年12月1日）

<参考情報>

主要投資対象の投資信託証券の概要

ファンド名	ライオングローバル マレーシア ファンド 米ドルクラス
ファンド形態	シンガポール籍投資信託
運用方針	マレーシア株式及び株式に関連した証券への投資によって信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。
ベンチマーク	M S C I マレーシア
信託期間	無期限（設定日：2004年8月16日）
決算日	6月30日
信託報酬	純資産総額に対し年0.65%
関係法人	管理会社：ライオン・グローバル・インベスターズ・リミテッド
	受託銀行：シティコープ・トラスティー（シンガポール）リミテッド
	保管会社・管理事務代行会社：シティバンク・エヌ・エイ

■ライオングローバル マレーシア・ファンド（米ドルクラス）の状況

2015年11月11日現在入手している最新（2015年6月30日現在）の状況です。

○保有有価証券明細（2015年6月30日現在）

	株数	評価額 (シンガポールドル)	純資産比率 (%)
FINANCIAL (INCLUDING REAL ESTATE)			
Malayan Banking Berhad	397,099	1,295,282	8.2
CIMB Group Holdings Berhad	465,752	909,204	5.7
Public Bank Berhad	75,393	503,682	3.2
RHB Capital Berhad	174,221	458,234	2.9
Alliance Financial Group Berhad	228,500	357,990	2.3
AMMB Holdings Berhad	156,800	337,429	2.1
Hong Leong Bank Berhad	62,400	298,407	1.9
IOI Properties Group Berhad	435,700	287,660	1.8
Affin Holdings Berhad	269,900	260,068	1.7
Naim Holdings Berhad	263,400	211,504	1.3
		<u>4,919,460</u>	<u>31.1</u>
INDUSTRIAL			
Sime Darby Berhad	286,072	869,830	5.5
Gamuda Berhad	226,700	377,823	2.4
IJM Corporation Berhad	137,600	320,174	2.0
MISC Berhad	85,600	235,836	1.5
WCT Holdings Berhad	262,923	133,240	0.8
		<u>1,936,903</u>	<u>12.2</u>
COMMUNICATIONS			
Axiata Group Berhad	305,600	697,996	4.4
Digi.Com Berhad	344,800	659,556	4.2
Maxis Berhad	169,000	384,189	2.4
		<u>1,741,741</u>	<u>11.0</u>
CONSUMER, CYCLICAL			
Genting Berhad	228,500	657,265	4.2
Genting Malaysia Berhad	304,300	456,111	2.9
Media Prima Berhad	480,700	250,465	1.6
DRB-Hicom Berhad	298,000	169,096	1.0
Berjaya Sports Toto Berhad	133,307	156,044	1.0
		<u>1,688,981</u>	<u>10.7</u>
UTILITIES			
Tenaga Nasional Berhad	321,487	1,450,207	9.2
Gas Malaysia Berhad	256,500	229,763	1.4
		<u>1,679,970</u>	<u>10.6</u>

	株数	評価額 (シンガポールドル)	純資産比率 (%)
CONSUMER, NON-CYCLICAL			
IOI Corporation Berhad	256,200	371,214	2.3
Supermax Corporation Berhad	425,500	314,333	2.0
Felda Global Ventures Holdings Berhad	409,500	238,211	1.5
Kuala Lumpur Kepong Berhad	27,900	213,077	1.4
		<u>1,136,835</u>	<u>7.2</u>
ENERGY			
Sapura Kencana Petroleum Berhad	556,300	468,533	3.0
UMW Oil & Gas Corporation Berhad	490,700	299,455	1.9
Alam Maritim Resources Berhad	1,386,400	264,705	1.6
		<u>1,032,693</u>	<u>6.5</u>
BASIC MATERIALS			
Petronas Chemicals Group Berhad	224,400	506,127	3.2
Ta Ann Holdings Berhad	269,900	366,984	2.3
		<u>873,111</u>	<u>5.5</u>
Portfolio of investments		15,009,694	94.8
Other net assets		825,317	5.2
Net assets attributable to unitholders		<u>15,835,011</u>	<u>100.0</u>
By Industry (Summary)		純資産比率	
		(%)	
Financial (including real estate)		31.1	
Industrial		12.2	
Communications		11.0	
Consumer, Cyclical		10.7	
Utilities		10.6	
Consumer, Non-cyclical		7.2	
Energy		6.5	
Basic Materials		<u>5.5</u>	
Portfolio of investments		94.8	
Other net assets		<u>5.2</u>	
Net assets attributable to unitholders		<u>100.0</u>	

■損益等の状況

計算期間 (2015年1月1日～2015年6月30日)

	LionGlobal Malaysia Fund
	(シンガポールドル)
収益	
受取配当金	560,874
	<hr/> 560,874 <hr/>
費用	
監査費用	13,608
保管報酬	4,099
管理報酬	244,645
専門家報酬	5,473
登録費用	27,255
受託報酬	9,297
取引コスト	73,226
評価・管理費用	19,571
その他費用	37,653
	<hr/> 434,827 <hr/>
損益	126,047
	<hr/>
投資有価証券及び金融派生商品に係る損益	
投資有価証券損益	(3,791,153)
現物為替契約損益	(6,526)
為替差損益	(62,158)
	<hr/> (3,859,837) <hr/>
当期損益 (税引前)	(3,733,790)
当期純利益	(3,733,790)

■ F O F S用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）の状況

2015年11月11日現在入手している最新（第5期決算日（2015年9月25日現在））の状況です。

■1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2014年9月26日～2015年9月25日)		
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 14	% 0.140	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,979円です。 信託報酬に係る消費税は当（作成）期末の税率を採用しています。
（投 信 会 社）	(11)	(0.108)	委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
（販 売 会 社）	(1)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	14	0.143	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■組入資産の明細 親投資信託残高

	当期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
短期金融資産 マザーファンド	千口 11,124	千口 2,259	千円 2,294

(注)親投資信託の当期末における受益権総口数は、7,323,818千口です。

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
短期金融資産 マザーファンド	千円 2,294	% 99.9
コール・ローン等、その他	1	0.1
投資信託財産総額	2,295	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年9月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,295,745円
コール・ローン等	1,552
短期金融資産 マザーファンド(評価額)	2,294,031
未収入金	162
(B) 負債	1,614
未払信託報酬	1,530
その他未払費用	84
(C) 純資産総額(A-B)	2,294,131
元本	2,299,956
次期繰越損益金	△5,825
(D) 受益権総口数	2,299,956口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,975円

■損益の状況

自2014年9月26日 至2015年9月25日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	1,928円
売買益	2,244
売買損	△316
(B) 信託報酬等	△3,992
(C) 当期損益金(A+B)	△2,064
(D) 前期繰越損益金	△3,171
(E) 追加信託差損益金	△590
(配当等相当額)	(12,183)
(売買損益相当額)	(△12,773)
(F) 計(C+D+E)	△5,825
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△5,825
追加信託差損益金	△590
(配当等相当額)	(12,185)
(売買損益相当額)	(△12,775)
分配準備積立金	87,914
繰越損益金	△93,149

(注1) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

当ファンド（FOFS用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「短期金融資産 マザーファンド（第8期決算日（2015年9月25日現在））」の組入資産の内容等の状況

■1万口当たりの費用明細

当期中における該当事項はありません。

■組入資産の明細

<国内(邦貨建)公社債>

(A) 債券種類別開示

区 分	当			期			末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率				
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満		
	千円	千円	%	%	%	%	%		
地 方 債 証 券	700,000 (700,000)	705,075 (705,075)	9.5 (9.5)	— (—)	— (—)	— (—)	9.5 (9.5)		
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	3,470,000 (3,470,000)	3,490,128 (3,490,128)	46.9 (46.9)	— (—)	— (—)	— (—)	46.9 (46.9)		
普 通 社 債 券 (含む投資法人債券)	100,000 (100,000)	100,766 (100,766)	1.4 (1.4)	— (—)	— (—)	— (—)	1.4 (1.4)		
合 計	4,270,000 (4,270,000)	4,295,969 (4,295,969)	57.8 (57.8)	— (—)	— (—)	— (—)	57.8 (57.8)		

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) ()内は非上場債で内書きです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

当	期	末		
銘 柄 名	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
地方債証券	%	千円	千円	
第632回東京都公募公債	2.0	100,000	100,936	2016/3/18
第634回東京都公募公債	1.86	100,000	101,326	2016/6/20
平成17年度第4回静岡県公募公債	1.6	100,000	100,132	2015/10/27
平成18年度第4回静岡県公募公債	2.1	100,000	101,851	2016/8/24
平成23年度第6回愛知県公募公債(5年)	0.4	100,000	100,260	2016/7/14
平成17年度第6回埼玉県公募公債	1.6	100,000	100,249	2015/11/25
平成23年度第3回埼玉県公募公債(5年)	0.5	100,000	100,321	2016/6/27
小 計		700,000	705,075	
特殊債券(除く金融債)				
第8回政府保証中日本高速道路債券	2.0	100,000	101,692	2016/8/12
第856回政府保証公営企業債券	1.5	530,000	530,514	2015/10/20
第858回政府保証公営企業債券	1.5	100,000	100,362	2015/12/25
第865回政府保証公営企業債券	2.0	273,000	277,277	2016/7/20
第866回政府保証公営企業債券	2.0	163,000	165,801	2016/8/18
第187回政府保証中小企業債券	1.5	210,000	210,661	2015/12/15
第11回政府保証日本政策投資銀行債券	1.6	200,000	201,264	2016/2/24
第1回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.5	224,000	224,797	2015/12/25
第16回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	2.0	200,000	203,236	2016/7/28
第23回政府保証都市再生債券	0.3	100,000	100,049	2015/12/10
第1回政府保証東日本高速道路債券	1.6	200,000	200,504	2015/11/25
第2回政府保証東日本高速道路債券	1.5	900,000	903,042	2015/12/21
第2回政府保証中日本高速道路債券	1.5	270,000	270,926	2015/12/22
小 計		3,470,000	3,490,128	
普通社債券(含む投資法人債券)				
第474回中部電力株式会社社債	1.69	100,000	100,766	2016/3/25
合 計		4,270,000	4,295,969	

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 4,295,969	% 57.8
コール・ローン等、その他	3,138,345	42.2
投資信託財産総額	7,434,314	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年9月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,434,314,238円
コール・ローン等	3,124,065,390
公社債(評価額)	4,295,969,020
未収利息	11,205,749
前払費用	3,074,079
(B) 負債	10,162
未払解約金	10,162
(C) 純資産総額(A-B)	7,434,304,076
元本	7,323,818,504
次期繰越損益金	110,485,572
(D) 受益権総口数	7,323,818,504口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,151円

■損益の状況

自 2014年9月26日 至 2015年9月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	83,824,090円
受取利息	83,824,090
(B) 有価証券売買損益	△79,563,150
売買損	△79,563,150
(C) 当期損益金(A+B)	4,260,940
(D) 前期繰越損益金	101,453,174
(E) 追加信託差損益金	6,747,030
(F) 解約差損益金	△1,975,572
(G) 計(C+D+E+F)	110,485,572
次期繰越損益金(G)	110,485,572

- (注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注3) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。